

令和3年度 第5回三和区地域協議会次第

日時：令和3年10月22日（金）
午後6時30分から

場所：三和コミュニティプラザ
3階 多目的ホール

1 開会

2 会長挨拶

3 報告事項

- (1) 三和ネイチャーリングホテル米本陣のサウンディング型市場調査について

資料No.1

4 その他

- (1) 「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた地域協議会における取組の検討
について

資料No.2

5 閉会

三和ネイチャーリングホテル米本陣の有効活用に係る サウンディング型市場調査の結果について

施設経営管理室

令和3年4月から休館となっている「三和ネイチャーリングホテル米本陣」について、施設の有効活用を図るため、民間事業者等の皆さんの経験やノウハウを活用し、様々な提案や意見をお聴きする「サウンディング型市場調査」を実施しましたので、頂いた提案の主な内容について次のとおり公表します。

1 調査の対象施設

No.	施設名（条例上の名称）	従前の 主な機能	従前の管理形態
1	三和ネイチャーリングホテル米本陣 ※令和3年4月から休止	宿泊、日帰り入浴、 飲食	第三セクター等 指定管理

2 調査スケジュール

	項目	実施日
1	実施要領の公表	6月30日（水）
2	事前説明会・現地見学会の開催	7月28日（水）
3	市場調査（対話）の実施	8月18日（水）～9月30日（金）
4	実施結果概要の公表	10月予定

- ・実施結果概要の公表は、当初9月中を予定しておりましたが、コロナ禍による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、民間事業者等の現地見学会や対話に遅延が生じたため、10月末となりました。

3 サウンディング型市場調査の結果

(1) 参加事業者数

項目	事業者数
事前説明会（個別説明）	6
現地見学会（個別見学）	4
市場調査（対話）	4
提案	3

(2) 提案の主な内容

提案区分	提案概要
施設の譲渡・貸付けによる利活用	<p>A者：近接する多能鉱泉、薬師の森なども活用し様々な癒しや学びのアクティビティを提供し、マイクロツーリズムやウエルネスツーリズムの誘客を図る。また、将来的には、移住者の居場所（シェアビレッジ）や若者の居場所（シェアハウス）を提供し、人材育成の拠点とし、地域連携や地域づくりに資する取組を展開する。</p> <p>B者：同様の事業を実施している民間事業者へのマッチングを行い、従来どおりの温浴・宿泊施設として運営、若しくは、グランピングも付加した上で運営する。</p>
施設の指定管理による利活用	C者：指定管理業務として従来形態を基本として運営する。

4 今後の対応

- ・ 施設の譲渡・貸付けによる利活用の提案があったことから、今後、市として施設の譲渡・貸付けの条件を整理する。
- ・ その後、具体的な事業計画や収支計画の企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を優先交渉先とするプロポーザルを実施する予定。

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた地域協議会における取組について

2 調査結果を受けた取組について

各設問の回答について、「具体的にどのような部分、分野に対するものか」の観点から細分化して整理し、回答が多かった主な項目について、短期的に実施が可能な取組と中長期的に検討を要するものに分類しました。

2-1 短期的に実施が可能な取組

(2) 各地域協議会において取組の検討をお願いしたいこと

ア 意見交換について

ア-1 主な回答

- ・協議会が地域課題の解消に向けて取り組むためには、地域の団体等との意見交換や情報共有が必要
- ・課題に気づき、自分たちで解決していかなければならないという思いを住民と協議会委員の両方が共有しながら議論を進めることが必要
- ・日頃から協議会と諸団体の間の風通しをよくしておくことが必要

ア-2 各地域協議会における今後の取組（案）

地域課題の把握・解消に向けた、住民組織、福祉・スポーツ団体、町内会、地域住民、他の地域協議会等との話合いの一層の活性化 [下線部は市議会提案を反映]

〔安心・安全グループの意見〕

- ・小学校再編検討時において、浦川原地域協議会へ訪問し、情報交換を行ったことは、非常によい経験で参考になった。
- ・町内会長協議会との意見交換が必要。

〔地域活性化グループの意見〕

- ・振興会や社会福祉協議会との意見交換が必要。
- ・委員が分担して町内会に出向き、それぞれの町内会が抱えている問題を把握することが必要。

〔人材育成グループの意見〕

- ・振興会や青少年育成会議コーディネーターとの意見交換が必要。
- ・三和区ネットワークづくり会議については、各団体の意見や課題を吸い上げる場となることを期待。

【三和区地域協議会における今後の取組（案）】

- ・地域課題の把握・解消に向け、引き続き地域の各団体（振興会、町内会長協議会、青少年育成会議）等との意見交換を行い、課題の情報共有と対策の検討を積極的に実施する。

イ 会議運営について

イー1 主な回答

- ・会議の開催日時が不定期で、予定が立てにくかった。
- ・月1回の会議だけでは取り組むテーマの解消ができない。
- ・毎回1時間程度の協議時間が設定されているが、議論の内容を深めるゆとりがなく時間切れになる。
- ・学習会や先進的地域への研修視察を重視すること。
- ・委員の責務として、全ての議題に対して各委員から必ず発言していただくような会議運営にしてほしい。
- ・協議会に参加してもなかなか発言できなかった。

イー2 各地域協議会における今後の取組（案）

- ・委員が会議に参加しやすくなるような、開催日時や回数の柔軟な設定
- ・必要に応じて日を改めて協議を行うなど、議論が深まるような運用
- ・自主的審議事項等の議論がより一層深まるよう、議論に必要な情報を得るための視察や研修の積極的な実施
- ・会議の進行を担う会長が全ての委員へ発言を求めるなど、多くの委員に発言の機会を設けるような配慮
- ・分科会やグループワーク等、小規模な話し合いの場を適宜設けるなど、委員が発言しやすい雰囲気づくり

〔安心・安全グループの意見〕

- ・会長（議長）から指名されての発言より、委員それぞれが自覚を持って事前準備を行い、自発的に発言することが望ましい。

〔地域活性化グループの意見〕

- ・働いている人が多いため、会議の開催時間は今の時間帯（午後6:30～）がよい。
- ・会長が満遍なく委員を指名し、多くの委員に発言を促す方法はよい。

〔人材育成グループの意見〕

- ・少数のグループワークから発展的な意見を持ち寄り、会全体でステップアップしていく運営方法や意見を吸い上げる方法はよい。
- ・コロナ禍で研修会がなかなか実施できない状況だが、地域の課題解決に有効な取組であり、今後実施したい。
- ・時間を要す審議内容であれば、開会時間を早めるなど工夫しながら柔軟に対応する。

【三和区地域協議会における今後の取組（案）】

- ・各議題に対し、委員一人一人が自覚を持って事前準備を行い、自発的に発言することで議論を深める。
- ・現在、会議は委員が参加しやすい時間帯（午後6:30～）としているが、審議に時間を要すると見込まれる場合は、開会時間を早めるなど柔軟に対応する。
- ・会議の進め方については、今後もグループワークの実施や会長が各委員に均等に発言を求めるなど、多くの委員に発言の機会を設けるように配慮する。

ウ 情報発信について

ウー1 主な回答

- ・地域住民等から協議会の活動に関心を持ってもらうために「地域協議会だより」を工夫し委員の声などを載せ、より親しみのある内容にしていく。
- ・各地域の取り組み等を定期的に「地域協議会だより」として回覧板でも良いので多数発行し、活動内容を理解してもらう。

ウー2 各地域協議会における今後の取組（案）

協議会の活動に市民から関心を寄せていただけるように、地域協議会だよりに委員の声や自主的審議の進捗状況等を掲載するなどの工夫

〔安心・安全グループの意見〕

- ・他の地域協議会だよりを参考に内容を充実させる。
- ・地域協議会だよりに、保育園児、小学校児童の絵を入れることによって、子育て世帯に興味を持ってもらえる。また、保育園や学校にもPRできる。

〔地域活性化グループの意見〕

- ・市のホームページから他の地域協議会だよりを閲覧し、よい内容を参考にしていく。
- ・地域協議会だよりを含め、色々なチラシが回覧されてくるが、それらが右綴じ、左綴じ等様々なため統一して欲しい。
- ・地域協議会だよりに委員の声を掲載したり、イラストを入れたりするなど、見てもらう工夫をする。

〔人材育成グループの意見〕

- ・地域協議会だよりの編集後記をグレードアップして、委員の想い、意見、感想等を掲載する。

【三和区地域協議会における今後の取組（案）】

- ・地域協議会だよりの作成に当たっては、より多くの地域住民に関心を持ってもらえるようにするため、他区の地域協議会だよりを参考にしながら、委員の声（想い、意見、感想）やイラスト・写真などを工夫して掲載する。